

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成30年4月11日
【四半期会計期間】	第36期第3四半期(自平成29年12月1日至平成30年2月28日)
【会社名】	株式会社ウッドフレンズ
【英訳名】	WOOD FRIENDS CO.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 前田和彦
【本店の所在の場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3503
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 伊藤嘉浩
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3504
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 伊藤嘉浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第3四半期連結 累計期間	第36期 第3四半期連結 累計期間	第35期
会計期間	自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日	自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日	自 平成28年6月1日 至 平成29年5月31日
売上高 (千円)	20,143,224	22,676,868	29,615,522
経常利益 (千円)	465,584	727,895	809,583
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	283,299	442,237	530,991
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	322,495	472,274	573,323
純資産額 (千円)	5,080,970	5,688,097	5,328,270
総資産額 (千円)	19,640,230	24,192,687	19,412,575
1株当たり四半期(当期)純 利益金額 (円)	193.30	303.77	363.41
潜在株式調整後1株当たり四 半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	24.4	22.2	26.0

回次	第35期 第3四半期連結 会計期間	第36期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日	自 平成29年12月1日 至 平成30年2月28日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	6.25	145.58

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容において、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)の概況は、以下のとおりであります。

##### 当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いております。名古屋駅周辺の開発が進み、更なる経済活性化に期待が高まっております。
- ・愛知県の新設住宅着工戸数は、前年同時期と比べて増加基調が続いております。特に分譲戸建住宅市場におきましては、住宅ローンの低金利等に支えられた住宅取得環境の下、需要増への期待から着工数が堅調に推移しました。短期的には、このような状況が続くと予想するとともに、市場での競争も激しさを増すと考えております。

##### 当社の取り組み

- ・当グループの主力事業である分譲住宅事業において、事業工期短縮とコストダウンを前期からの継続的な重要課題として、生産・販売プロセスの改善に取り組んでまいりました。
- ・将来の事業発展のため、集成材製造・プレカット加工等を行う岐阜工場の生産能力を拡張するための設備投資としてプレカット工場棟を新設し、稼働いたしました。また、木質建材の内製化を更に進めるため、住宅用木質パネルを製造する工場棟の建設に着手しました。この工場の稼働は平成30年6月を予定しております。なお、新設稼働したプレカット工場棟の設備投資に対して、公的補助金(岐阜県企業立地促進事業補助金)の交付が決定されたことにより、営業外収益として84百万円を計上しております。
- ・特別地方公共団体である名古屋港管理組合が公募していた「名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)」(愛知県弥富市)の指定管理者に当社が指定されました。平成19年から愛知県初のPFI事業として実施しております「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」(愛知県尾張旭市)のオペレーションノウハウを活用し、指定管理期間である平成30年度から4年間に亘り、「ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部」として管理運営を行います。

##### 当第3四半期連結累計期間の業績

< 連結業績 >

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期実績	22,676百万円	816百万円	727百万円	442百万円
前年同期比	12.6%増	26.0%増	56.3%増	56.1%増

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売が主力。住宅建設資材の製造・販売も行う。

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	19,231百万円	820百万円	市場対応の結果、戸建分譲住宅の売上単価が低下したものの、生産効率と販売効率が向上したことにより、販売戸数が増加し利益率も改善。また、建設資材の外販量も増加した。
前年同期比	3.9%増	12.0%増	

b AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	1,315百万円	299百万円	ゴルフ場での設備投資により減価償却費が増加したものの、業績は概ね計画どおり進捗した。
前年同期比	1.2%増	9.2%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	1,597百万円	31百万円	自社開発したマンション1棟および木造アパート3棟を売却したことを主因として、売上高が大幅に増加し、黒字化した。
前年同期比	712.2%増	-	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	611百万円	94百万円	住宅事業用地として開発を進めていた案件を計画変更して売却したため、売上高・利益とも大幅に増加した。
前年同期比	180.3%増	244.9%増	

(2) 財政状態の分析

資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して4,780百万円増加し、24,192百万円となりました。

負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して4,420百万円増加し、18,504百万円となりました。

純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して359百万円増加し、5,688百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,800,000
計	4,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成30年4月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,480,000	1,480,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	1,480,000	1,480,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年12月1日～ 平成30年2月28日	-	1,480,000	-	279,125	-	269,495

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年11月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 21,700		単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,457,800	14,578	単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 500		
発行済株式総数	1,480,000		
総株主の議決権		14,578	

【自己株式等】

平成30年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社ウッドフレンズ	名古屋市中区栄4-5-3	21,700	-	21,700	1.46
計	-	21,700	-	21,700	1.46

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)により作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成29年12月1日から平成30年2月28日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年6月1日から平成30年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,208,148	3,938,323
完成工事未収入金	5,556	21,848
売掛金	344,241	269,838
販売用不動産	4,688,898	5,801,993
仕掛販売用不動産	5,323,007	7,416,080
未成工事支出金	1,287,082	2,158,277
商品及び製品	203,810	279,585
仕掛品	97,846	125,683
原材料	248,170	153,516
その他	507,586	900,574
流動資産合計	16,914,349	21,065,720
固定資産		
有形固定資産	2,061,929	2,714,111
無形固定資産	134,194	106,939
投資その他の資産	302,101	305,916
固定資産合計	2,498,225	3,126,967
資産合計	19,412,575	24,192,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	1,471,647	1,539,292
買掛金	365,521	422,241
1年内償還予定の社債	153,400	159,400
短期借入金	5,881,562	9,320,846
1年内返済予定の長期借入金	1,469,540	1,866,496
未払法人税等	148,146	146,350
賞与引当金	151,357	53,901
役員賞与引当金	32,000	-
完成工事補償引当金	142,922	113,915
その他	707,084	702,165
流動負債合計	10,523,182	14,324,609
固定負債		
社債	309,600	373,900
長期借入金	2,289,116	2,928,263
退職給付に係る負債	1,194	1,474
役員退職慰労引当金	138,100	144,961
資産除去債務	16,102	13,051
その他	807,008	718,331
固定負債合計	3,561,122	4,179,981
負債合計	14,084,304	18,504,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	280,619	284,956
利益剰余金	4,538,442	4,850,087
自己株式	55,569	41,762
株主資本合計	5,042,617	5,372,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,337	807
その他の包括利益累計額合計	1,337	807
非支配株主持分	284,315	314,882
純資産合計	5,328,270	5,688,097
負債純資産合計	19,412,575	24,192,687

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	20,143,224	22,676,868
売上原価	17,371,020	19,498,274
売上総利益	2,772,203	3,178,594
販売費及び一般管理費	2,124,600	2,362,376
営業利益	647,603	816,217
営業外収益		
受取利息	20	36
受取手数料	12,863	12,799
違約金収入	1,468	3,200
補助金収入	-	84,216
その他	18,809	20,733
営業外収益合計	33,161	120,985
営業外費用		
支払利息	168,892	176,364
資金調達費用	23,808	16,169
その他	22,480	16,773
営業外費用合計	215,180	209,307
経常利益	465,584	727,895
特別損失		
固定資産除却損	2,974	11,124
特別損失合計	2,974	11,124
税金等調整前四半期純利益	462,609	716,771
法人税等	141,423	243,966
四半期純利益	321,185	472,804
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,886	30,567
親会社株主に帰属する四半期純利益	283,299	442,237

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	321,185	472,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,310	530
その他の包括利益合計	1,310	530
四半期包括利益	322,495	472,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284,609	441,707
非支配株主に係る四半期包括利益	37,886	30,567

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
販売顧客の金融機関からの借入金	647,951千円	197,442千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
減価償却費	243,149千円	291,178千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年8月25日 定時株主総会	普通株式	58,684	40	平成28年 5月31日	平成28年 8月26日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年8月29日 定時株主総会	普通株式	130,591	90	平成29年 5月31日	平成29年 8月30日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	A M事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	18,511,217	1,299,427	181,380	151,197	20,143,224	-	20,143,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,080	1,182	15,252	67,048	84,564	84,564	-
計	18,512,298	1,300,610	196,633	218,246	20,227,788	84,564	20,143,224
セグメント利益又はセグ メント損失( )	732,830	329,455	17,568	27,358	1,072,077	424,473	647,603

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 424,473千円には、セグメント間取引消去6,413千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 430,887千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	A M事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	19,231,318	1,314,183	1,584,139	547,226	22,676,868	-	22,676,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,412	12,936	64,521	78,870	78,870	-
計	19,231,318	1,315,595	1,597,076	611,748	22,755,738	78,870	22,676,868
セグメント利益	820,659	299,191	31,849	94,351	1,246,051	429,834	816,217

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 429,834千円には、セグメント間取引消去28,324千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 458,158千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額	193円30銭	303円77銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	283,299	442,237
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(千円)	283,299	442,237
普通株式の期中平均株式数(株)	1,465,593	1,455,822

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年4月11日

株式会社ウッドフレンズ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岩田 国良

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山田 昌紀

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウッドフレンズの平成29年6月1日から平成30年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成29年12月1日から平成30年2月28日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年6月1日から平成30年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウッドフレンズ及び連結子会社の平成30年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。